

# BASED ON A TRUE STORY

written by HADEYA

## 何も学ばない俺たち

学生の頃に起きた事件。日本で発生した歴史上最悪の鬼畜犯罪を断罪する。  
この日以来、世界は変わった。封印した作品……俺は悪魔と契りを交わした。  
書く。あの事件を風化させない為に。

神が作りし「ナサケ」を許し、風化させない為に。

著者より

### 1

まだパソコンもインターネットもない時代に起きた一つの事件。  
この事件の本質を暴く。そして裁く。事件の名は——

### 女子高生コンクリート詰め殺人事件。

\*

セーラー服の女子高生がコンビニから出て来た。倒れている自分の自転車を起こそうとすると、複数の男性が声を掛けて来た。自転車を起こすのを手伝って上げますよ。彼女——女性Aは直感でピンと来た。陰謀に巻き込まれた、と。複数の男性は有無を言わさぬ態度で女性Aを誘拐した。これが歴史上最悪の鬼畜犯罪の始まりだった。

「……毎晩、恐怖で目が覚めます」

女性Aの父親は告げた。複雑な心理を語り続ける。

「加担した人数は数え切れず。警察も正確な人数を把握し切れておりません。主犯の母は自分が経営される飲食店で息子の武勇伝を自慢しているそうです。私と妻は怖い。ただただ、怖い。自分の娘を失った喪失感以上に怖くて、恐怖の連続の人生を歩んでいます。この恐怖から解放されたい。しかし——」

「社会がそれを許さない」

目の前の筋骨隆々とした真っ赤な悪魔が会話を遮る。悪魔——ディモンは告げた。

「それで俺たちにどうにかして欲しい。そう言う解釈で間違いないか？」

闇の中、ディモンが問う。被害者の父はUSBメモリを差し出した。

「提示された報酬、全財産の壤土権が格納されています。お願いします……連中を倒して下さい……お願いします」

「どの程度、やればいいんだ？」

涙を拭い、被害者の父親は告げた。その声は意を決している。

「地獄に突き墮として下さい」

神作譲は夜道を歩いている。近所のコンビニへ足を運ぶ為だ。次の瞬間、風景が一変した。

光から闇……影へ。モーション・ブラーが残像を伴って目の前を横切る。神作譲は立ち止まり、独り言を呟き始めた。怯えた声で。

「私は罪を犯しました。再犯も犯しました。罪を償います。率先して地獄に墮ちる事、それが自分の果たすべき贖罪と考えます。被害者と、ご遺族の皆様。都合が良い話で恐縮ですが、主犯である私をどうか、お許し下さい」

神作譲の喉がザックリ裂かれた。パッキリ割れた傷口から天井に水が吹き出るように鮮血が飛び散った。

飲食店のママは今日も息子の蛮行を接客の話題にしている。ママは背筋を正し、目の前の客に語り始めた。

「私は自分の息子が犯した歴史上最悪の鬼畜犯罪の自慢話をする事で売り上げを上げています。馬鹿丸出しの腐れ淫売女です。そんな私の話を愉快地に聞いている、お客様。今日は祭りの日です。血祭りの日です」

ママの首から鮮血が飛び散る。同時にモーション・ブラーが目の前の客に電光石火の速度で憑依して行く。

客は背筋を正し、語り始めた。

「人類は愛と平和の文明です。そして私は犯罪を許しません。今から被害者心理を喰い物にする自分を律します。この店にいる皆様も同罪です。自覚がある筈ですので逃がしません」

店内にいる十三名の客の喉が同時に裂かれ、鮮血がインテリアを真っ赤に染める。

同時にボヤが起きた。カーテンが燃え広がって行く。一陣の風が吹き、炎が瞬く間に燃え広がった。

大炎上———飲食店は陥落した。

顔面を蹴り上げた。壁に激突し、そのまま壁を突き破って、一直線に飛んで行く。雑居ビルに激突して倒れる。

モーション・ブラーが動く。目にも止まらぬスピードで。ディモンは女の首根っこを掴むと加害者の一人を掴んだ。

泣きながら懇願する。鬼畜犯罪に加担したゲス野郎が泣きながら懇願する。

「私は女性です。被害者の顔にマジックで落書きし、カップ麺のスープを頭に掛け、シャンプーとハシヤいでした。罪を重く受け止め、死を持って償います。どうぞ私の顔面に落書きをなさって下さい」

渾身の力でディモンは加害者女の顔面をブン殴った。

モーション・ブラーが動く。モーション・ブラーが動く。目くるめく、モーション・ブラーが動く。

次々と加害者が罪を償って行く。

あの事件が世界を変えた。男と女の間を歪めた。

美しい者を汚し、大世界を冒とくした俺たち。俺たち、皆が裁かれる。

最後のターゲットは———

長渕剛は東京ドームのステージで〈とんぼ〉を熱唱している。  
コード演奏のカッティングが加速し、歌詞が変わる。

俺はこの曲で印税収入を得て生きて来た。一体、幾ら稼いだろう。

女子高生コンクリート詰め殺人事件の被害者が押し込まれたドラム缶に押し込まれた……言うなれば、あの事件のテーマ曲で。

俺は幸せのとんぼだ。飛べるのに遺族に謝罪をしなかった。

理由は一つ。俺がイケイケでド渋のクールなスーパースターだからだ。

これから幾ら稼げるだろう、この曲で。

加害者に感謝せねばならない。この曲をテーマ曲にしてくれたのだから♪

オーディエンスはノリノリだ。長渕剛もノリノリだ。衝動犯罪に見せ掛けた黒幕の〈?〉も、政治家に媚び諂う国民も、皆、ノリノリだ！

\*

……この物語はこれで終わり。

仕事は終わった。あの事件を風化させてはならない。それが作者である〈私〉の美学、だ。(了)

キリミハデヤ

hadeyakirimi@gmail.com

81-080-9832-0574

モリカワ ケンタロウ 口座番号

三井住友銀行(店番号232) 普通口座 口座番号:7342872